

建築系学生奨励事業

## 第23回 卒業設計コンクール展 開催

埼玉建築設計監理協会の法人化30周年を機に始まった卒業設計コンクール展は、一般社団法人へ移行した協会の主要な活動として位置づけられています。コンクールは、その趣旨に賛同いただいた多くの企業・団体、共催・協賛団体の協力により運営されています。

昨年からは、感染対策をし、作品を展示し公開審査を行っております。今年は会場を川口リリアに移し、12の大学の学部から29作品が応募し、埼玉賞候補作品は17作品、自由テーマの作品は12作品となりました。

今後、埼玉県知事賞、準埼玉賞受賞の作品については、関連した自治体へのプレゼンテーションや展示を行う予定です。卒業設計での提案を基に、産官学が連携して地域の問題解決や賑わい創出ができることを期待しています。



### □ 開催主旨

昨今の都市計画や建築デザインに於いても、ICT革命時代にふさわしい斬新な発想が求められています。そのような中、新しい時代の第一線で活躍が期待される建築系学生の能力向上、育成を図る目的で、次代を先取した意欲ある作品を募集し、若い学生達の考える創造価値と熱意を奨励します。特に、当協会としては、「埼玉」を分析し、再構築を試みることで街づくりの活性化を図り、地域を変える起爆剤となるような夢溢れる作品を待っています。

### □ テーマ、募集作品

(1) 埼玉をテーマとした作品（埼玉県知事賞対象候補）

(2) 自由テーマの作品

上記の分類による都市や建築デザインをテーマとした作品の卒業設計を対象とします。

### □ 受賞者および作品

埼玉県知事賞 1作品…テーマ(1)の作品の中で最も優れた作品（副賞として海外研修旅行目録・30万円相当）

準埼玉賞 1作品…テーマ(1)の作品の中で優れた作品（副賞として5万円相当の目録）

埼玉建築設計監理協会賞 1作品…募集作品の中で最も優れた作品〔埼玉県知事賞受賞作品を除く〕  
（副賞として海外研修旅行目録・20万円相当）

準埼玉建築設計監理協会賞 1作品…募集作品の中で優れた作品〔埼玉県知事賞受賞作品を除く〕  
（副賞として5万円相当の目録）

### <全作品対象>

特別審査員賞 3作品…各大学の先生による審査とします（副賞として3万円相当の目録）

埼玉県住宅供給公社賞 1作品…まちづくりを題材とした作品（副賞として3万円相当の目録）

さいたま住宅検査センター賞 2作品…住宅を題材とした優れた作品（副賞として5万円相当の目録）

JIA埼玉賞 3作品…優秀な提案、建築家に相応しい作品。  
卒業設計を行った年度の大学学科の所在地が埼玉県内である応募者の中から、JIA埼玉会員が独自に選出します。JIA埼玉最優秀賞1名、JIA埼玉優秀賞2名を選定し、JIA全国学生卒業設計コンクールに3作品程度推薦します。

総合資格学院賞 2作品…社会に飛び出す若駒のエネルギッシュな作品（副賞として5万円相当の目録）

日建学院賞 2作品…来場者の投票により選ばれた作品（副賞として5万円相当の目録）

奨励賞 適宜

### □ 審査員 作品出展校から各学部の先生1名、埼玉県（1名）、さいたま市（1名）、大手建設業（1名）

（一社）日本建築学会関東支部埼玉支所（1名）、（一社）埼玉建築士会（1名）、

（一社）埼玉県建築士事務所協会（1名）、（公社）日本建築家協会埼玉地域会（JIA埼玉）（1名）

（一社）埼玉県建設産業団体連合会（1名）、埼玉県住宅供給公社（1名）

（一財）さいたま住宅検査センター（1名）、当協会賛助会員（1名）、当協会会員より数名

### □ 主催 協賛

（一社）埼玉建築設計監理協会

（一社）日本建築学会埼玉支所、（一社）埼玉建築士会、（一社）埼玉県建築士事務所協会

（公社）日本建築家協会埼玉地域会（JIA埼玉）、（一社）埼玉県建設産業団体連合会、埼玉県住宅供給公社

（一財）さいたま住宅検査センター、（一社）埼玉県建設業協会、（一財）埼玉県建築安全協会

生和テクノス(株)、松坂屋建材(株)、総合資格学院、日建学院、スミダ工業(株)、(株)八洲電業社、(株)蓮見工務店、

エスケー化研(株)、生涯スポーツ建設(株)、(株)中西製作所、大成建設(株)、和光建設(株)、(株)田中工務店、柏木建設(株)、

(株)佐伯工務店、(株)島村工業

後援 埼玉県、さいたま市、テレビ埼玉



受賞された皆さん



埼玉県知事に説明する受賞者



埼玉県知事を囲んで

埼玉県知事賞

実践女子大学生活科学部 生活環境学科 宮本 早紀  
北本循環交流神社 ～氏子が生み出す多世代コミュニティ～

私が住む北本市には多くの神社がある。責任役員や祭事等に関わる総代は地域活動に積極的であるが、高齢であることが多く、年々衰退の兆しがみられる。跡継ぎがない等の理由から、宮司が常勤する神社が減り、北本市では高尾氷川神社のみとなった。一方で神社にはまだ子どもたちにも楽しんでもらえる伝統が残る。夏には屋台も出る祭りが行われ、初詣には夜中から多くの参拝者が参道に並び、神社の文化が残つつも失われ始めている今が再生の最後のチャンスであると考え、まだまだ社会活動に貢献したい氏子を中心とした文化圏の繋がりを創出し、神社が生み出す多世代コミュニティプログラムを提案する。



北本循環交流神社  
～氏子が生み出す多世代コミュニティ～

学び

本宿天神社：音楽



社殿をその周りで合唱や合奏ができる階段ステージを有する空間。

平面図

高尾氷川神社：植物



石戸氷川神社：語学



白山神社：習字



徒歩・自転車ルート

東間浅間神社～本宿天神社

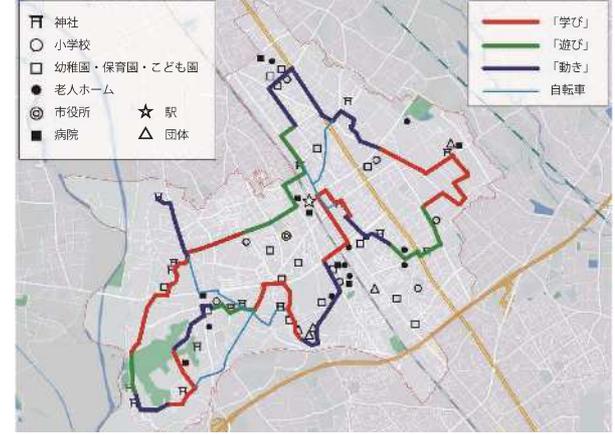


石戸氷川神社～石戸八雲神社



バスルートとゾーンの設定

神社と移動手段のない子どもや高齢者が利用する場所をマッピングし、それらや神社を中心に市内を循環するバス(ワゴン車)ルートと近隣の神社をつなぐ自転車や徒歩のルートを設定。バスルートを学習や文化など年齢に関係なく学ぶ「学び」、自然と触れ合いながら年齢の壁をなくして交流を育む「遊び」、無理なく継続的にエクササイズを行う「動き」の3項目にゾーニングし、それぞれを短く分けてバランス良く配置し、市内の各神社を巡って様々な体験を楽しむ計画とする。それぞれのゾーニングに合わせて神社や周辺環境の特性を生かしたプログラムを設定する。



遊び

東間浅間神社：アナログゲーム



木々に囲まれた小さな郵便に設置されたボードゲームや将棋を楽しむ空間。

平面図

神明神社：パーティ



石戸八雲神社：手作り道具遊び(内)



八幡宮：手作り道具遊び(外)



動き

宮内氷川神社：体操



簡単なエクササイズを体験し、木陰のベンチで休憩する空間。

平面図

中丸氷川神社：武道



石戸天神社：バスケ



北袋神社：体操



北本市の神社の特徴



[高尾氷川神社・兼務社]

[社殿に人が入れない神社]



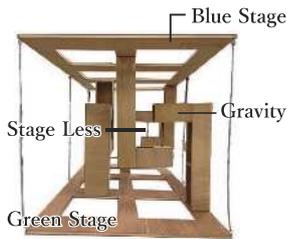
準埼玉賞

実践女子大学生活科学部 生活環境学科 高波 晴夏

Green.Blue.Stage.Less ~世界を導く 大宮浮遊鉄道・都市計画~



TOYOTA やSkyDrive、スズキ等の企業が空飛ぶ車や物流ドローンの開発を行なっている。  
 また、イギリスでは空飛ぶバスなどの大規模輸送の開発が進んでおり、地上の交通インフラが軽減され、空に移る日が近いといわれている。  
 我々は地球の次は宇宙で生活すると考えたが、空やインフラから解放された地上に魅力ある居住空間の構成方法を探り、都市研究の対象を広げることが必須であると考えた。  
 大宮は数々の新幹線や在来線、幹線道路や高規格幹線道路が集中し、国交省まで有しており、これまで日本の都市交通インフラをリードしてきた大宮こそが本研究のスタートを切るべき都市であると考えた。



Blue Stage

労働環境のための高層ビルなどが密集した先進的な生活をするステージである。  
 光や雨がふりそそぐ空隙を取り囲むような光り輝く都市を創出され、以下に主眼を置いて計画されている。  
 ・Green Stage に向かって建物が伸びる。  
 ・空飛ぶ車のプールを建物ごとにもつ。  
 ・ファサードにはアクティブな空間が浮かび、フロアにはユニバーサルスペースが広がる。  
 コアを中心にもつ各層が螺旋状に配置されたコミュニティボリュームで繋がっていく。

ぼこぼこ

オンラインスペース・コワーキングスペース・仮眠室・キッチン・ソファスペース・ベランダの6つの空間が存在する。  
 上下階の移動や突出した床を伸ばし車が停車することが可能。  
 隣からは中の様子が見えないため、プライバシーが保たれる。

NEST

商業施設ビル間にある吹き抜けの空間では誰でも使用することが出来る商業施設とオフィスが入れ混じっている。



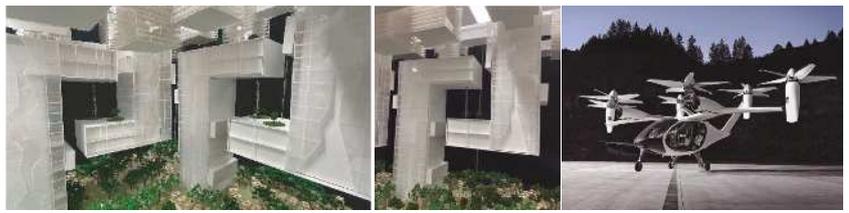
Stage Less

空飛ぶ車や電車等の交通のインフラの役割を担う隙間の空間となる。

各 Stage の移動は、空飛ぶバス、空飛ぶ電車となる。1階には駅や、タクシー乗り場があり2階にバス停を設置する。



Stage Less 平面図



Green Stage

以下のようなものを主眼においた木々が豊かで緩やかな起伏をもつステージの中に縫うような散歩道と小さな家々が存在する居住空間で大地と緑と共生しながらのんびりと健康的な生活を送る牧歌的なステージである。

住宅は1階にリビングがあり、地下へと伸びる地中ハウスと地上へと伸びるツリーハウスの2種類が存在する。

- ・設置性を考慮した小規模な建築の集合体とする。
- ・自動車交通の消滅により街区割りが不要となる。
- ・移動手段は身の丈に合った徒歩、自転車、セグウェイ、キックボード等を利用する。
- ・Green Stage の中に溶け込み、家族が自然と集まる空間である。
- ・木々に囲まれ、プライバシーが保たれた開放的な空間とする。



Gravity

Blue Stage と Green Stage の間の両都市を引き合う建築である。  
 Gravity の内部には、仕事と生活をつなぐ文化的な空間が存在する。  
 L字型の空間には人工的な自然の広場が広がっており、自然に溢れた Green Stage から人工的に植えられた自然のある Gravity、人工的な Blue Stage に繋がる。  
 一部の空間を突出させ、Blue Stage と同様に「ぼこぼこ」が存在する。また、Blue Stage の「NEST」とつながる部分には公共施設を設け空間に一体感をもたせる。



埼玉建築設計監理協会賞

工学院大学建築学部建築デザイン学科 馬場 琉斗  
東京浸透水域 根となる擁壁の更新と幹となる建築の更新



東京に浸透水域をつくる。現代の建築、土木は目に見える上層のコンテキストのことしか考えられていないのではないかと。線路に新しい浸透水域という役割を見つけ、大地に蓋をしている擁壁、建築を更新することで、土木の寿命、大地への荒廃した関係、緑地の減少など土木の転換期である現在に、動植物の生息域の拡大、人のコミュニティの創生、新しい風景を見せることはできないか。今後も必要不可欠な土木インフラに対しての新たな共生作法、解決策として浸透していく。

# 東京浸透水域

根となる擁壁の更新と幹となる建築の更新



**01 背景** 01-1 土木、建築によって蓋をしてしまった東京

かつての東京は山と谷が繰り返り蓋され自然が広がり、河が流れ生活が広がっていた。現代はその自然に対して土木が覆い、蓋を閉めた。冬みな上物りなした東京は場所柄を失ってこの風景を同じようなものになり大規模な開発を促してしまっている。私はこんな東京に対して今のままで良いのかと疑問とした不安を感じている。

**08 設計提案** 08-1 擁壁に隣接するものを登き込みながら浸透していく

【擁壁の更新、更新を促すことには擁壁自体の機能喪失も懸念が、閉まってしまったよりに蓋の建築、土木、環境にも影響を及ぼしはしないか】

08-2 大地への浸透

擁壁、地上土木と隣接する部分を掘削し、緑地帯に近づけるように更新を促す。

08-3 隣接への浸透

擁壁、地上土木と隣接する部分を掘削し、緑地帯に近づけるように更新を促す。

**15 配置図** 09 配置図兼地階平面図 1:500

**09 根となる擁壁の更新**

木擁壁 蛇籠擁壁 コンクリート擁壁 石積の擁壁と建築

**東西断面図**

**南北断面図**

**10 幹となる建築の更新**

取り壊し 上層の更新 下層の更新

解体することで水が浸透しやすくなる。解体することで水が浸透しやすくなる。解体することで水が浸透しやすくなる。

上層の更新 解体することで水が浸透しやすくなる。解体することで水が浸透しやすくなる。解体することで水が浸透しやすくなる。

下層の更新 解体することで水が浸透しやすくなる。解体することで水が浸透しやすくなる。解体することで水が浸透しやすくなる。

**南北断面図**



**縦断断面図**



特別審査員賞  
JIA埼玉最優秀賞

東洋大学理工学部建築学科 山口 華奈  
自然と暮らす -他生物の器となりうる建築-



樹木が林立する様子は、疎密あるランダムな配置によって周囲にあいまいな奥行き感をつくり出す。そんな樹木たちの挙動を感じながら送る生活を提案する。  
私は卒業設計を進めながら二冊の本を読んだ。  
エクスキュル/クリサート著の「生物から見た世界」と、レヴィストロースの「野生の思考」だ。  
これらの本を読み、「自分捉えている自然環境が実は実世界の一部しか捉えられていないかもしれないと感じた。自然には、そんな人間の本質的なレベルを上げる力があると思う。」

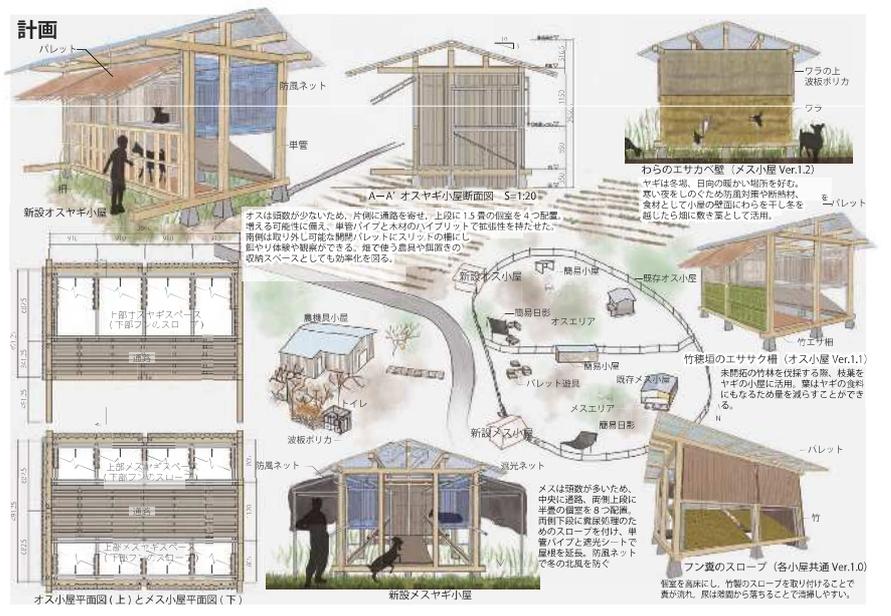
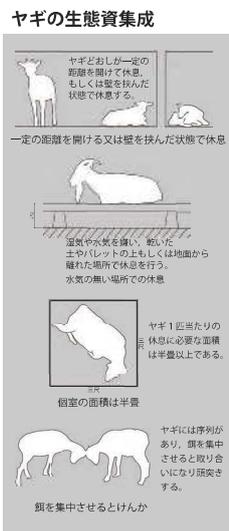


特別審査員賞

ものづくり大学技能工芸学部建設学科 渡邊 啓介  
仮想的な山羊小屋のビルド/デザイン  
埼玉県東松山市農園の看板ヤギレスキュー



埼玉県東松山市には、田畑として利用されなくなった休耕地を再利用した月田橋溪流の郷農場がある。そこではヤギが飼育されており、既存の山羊小屋は木製パレットや単管パイプの簡易的な小屋である。そのため隙間が多く、台風や大雨による雨漏れや破損しやすく、ヤギが生活する運動場は周りの地面より低く、浸水被害もある。現況はヤギにとって悪条件であるため、ヤギが安心できる小屋の制作が望まれた。これらから、ヤギの行動や環境の変化に応じて可変しやすいように管理者と学生が施工しながら農園全体の構想を担う仮想的なビルド/デザインを試みる。



特別審査員賞

日本女子大学家政学部住居学科 平原 朱莉

生木の風化と循環を体感する

-原始の思考と現代の技術で再生する人工林-



Concept

森林の可視化に近い建築を作ると、建築と人が自立の関係になり、人が森林に近づくことができると考えた。

【従来の自然的な建築】  
建築(人の生活を守るもの)と人が「依存」の関係



【提案する建築】  
建築(森林を可視化したもの)と人が「自立」の関係  
ex) 道・小屋



日本では木々に限らず、そこに生きる動植物・落葉・山菜に至るまで、「森林の恵み」を享受して生活してきた歴史があった。しかし近年の日本人の意識は大きく変わり、地球環境に負担となる活動を積極的に行うようになってきている。そこで、山とスギにとって良い環境を保ちながら、人間が生木の風化と循環を体感できる建築を、切株を建築基礎として活用できないかという、建築構造の研究を活かして提案する。

生木の風化【人工林内】

切株を建築基礎とし、腐朽に伴い移動する、小さな小屋の設計

この建築では、人工林の環境に即して設計し、切株の腐朽に伴って移動する小屋を設計する。人が森林の風化と循環を体感できる建築を、切株を建築基礎として活用できないかという、建築構造の研究を活かして提案する。

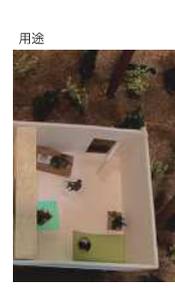
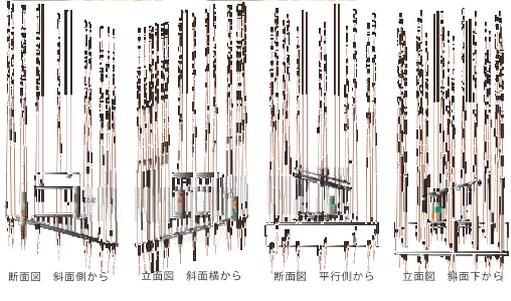
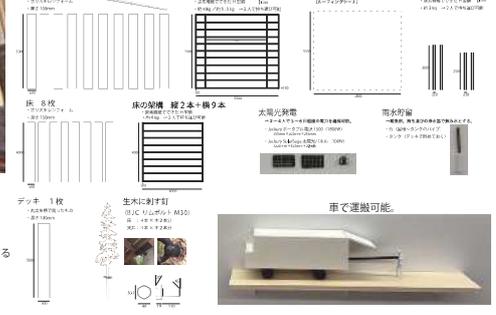
Phase ①  
20haの敷地に小屋を点在させる



Phase ②  
切株の腐朽によって、小屋が移動し、山頂の展望台となる



材料・構造



埼玉県住宅供給公社賞

日本大学生産工学部建築工学科 野口 裕莉菜

みちが続く先に



少子高齢化やコンパクトシティによる商店街の衰退。それでも商店街のまちの温かさやコミュニティを残していくためにはどうすべきか。商店街らしさや商店街の魅力的空間を建築に引き込み、これからの商店街における「商い」と「暮らし」のあり方を提案する。5か所の空き地や空き家を改修し、使われていない場所をまちの人の居場所とする。



- 「食」のシェアハウス  
ひとり暮らしをしている高齢者が集まって住む場所。共同で食費を回す。
- 小商いの集合住宅  
普段主婦をしている人や大学生などが小商いをする土間スペースをもつ
- 拡張する暮らし  
暮らしや商業は普段と変わらないが、となりの建物の余白をもらい食卓スペースを聞いてみたり、ショップを経営したり
- まちのひろば  
近隣住民がこの場所にやってくる憩いの場所。1日単位の貸スペースで自由に利用できる
- まちの休憩所  
1階は商業2階は住宅の関係性をゆるくする。使われていない場所はまちの人のシェアスペースとなる



さいたま住宅検査センター賞

東洋大学ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科 向田 大亮

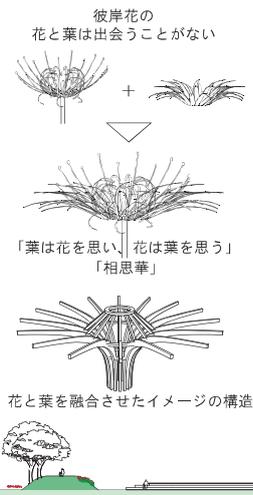
自然回帰



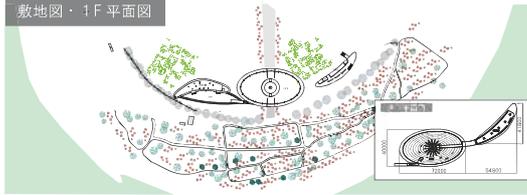
高齢化・過疎化が進んでいる日高市において、朝鮮半島の歴史を後世に継承し、故人が土に還る納骨堂の墓地空間の提案。



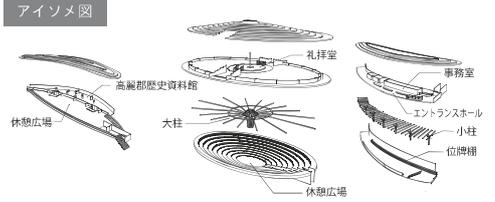
彼岸花・大柱の構造



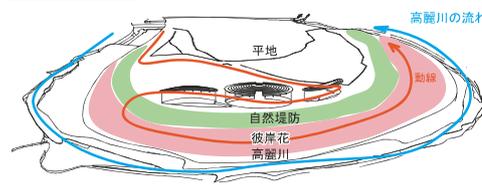
敷地図・1F平面図



アイソメ図



配置図・動線図



さいたま住宅検査センター賞

工学院大学建築学部建築デザイン学科 阿部 泰征

痕跡への応答 -釜石鉱山選鉱場跡地における資料館の提案-



今までの風景を作っていた建築がなくなった時そこには何が残るだろうか。今回の研究では擁壁の配置、模様をヒントに建築を作り、これまでの建築の系譜を引き継ぎながらも新たな建築の特徴が出てくると仮定した。「痕跡をヒントとしながら今の環境に対して他律的な建築」をテーマに釜石鉱山選鉱場跡地に鉱山の歴史を伝える資料館を提案する。

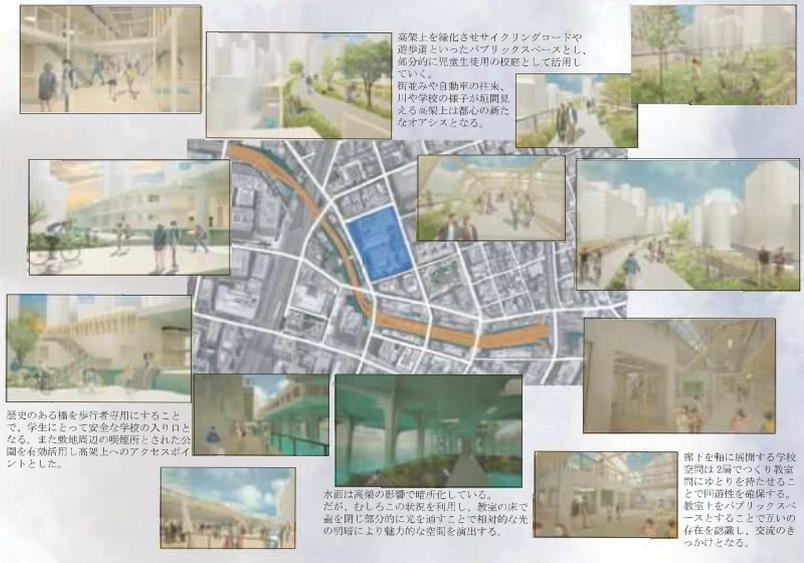
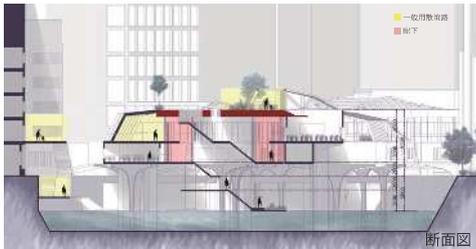
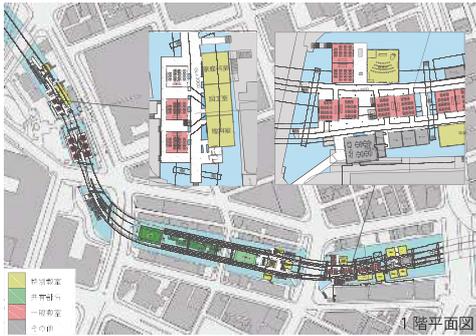


**J I A 埼玉優秀  
日建学院賞**

東京電機大学理工学部理工学科 陳 禹行・高井 祐来  
高架×学び舎 ～首都高速道路の活用による新たな川辺空間の提案～



日本橋上空を走る首都高都心環状線は開通から半世紀以上が経過し、高架は構造物の高齢化が問題視され、2019年に神田橋JCT～江戸橋JCT間を、地下ルートで整備することが決定した。首都高速地下化に伴ってその役目を終える既存高架道路を保存し、日本橋川という場所の特性を生かして再活用することで、新たな都市空間の在り方を提案したいと思いました。

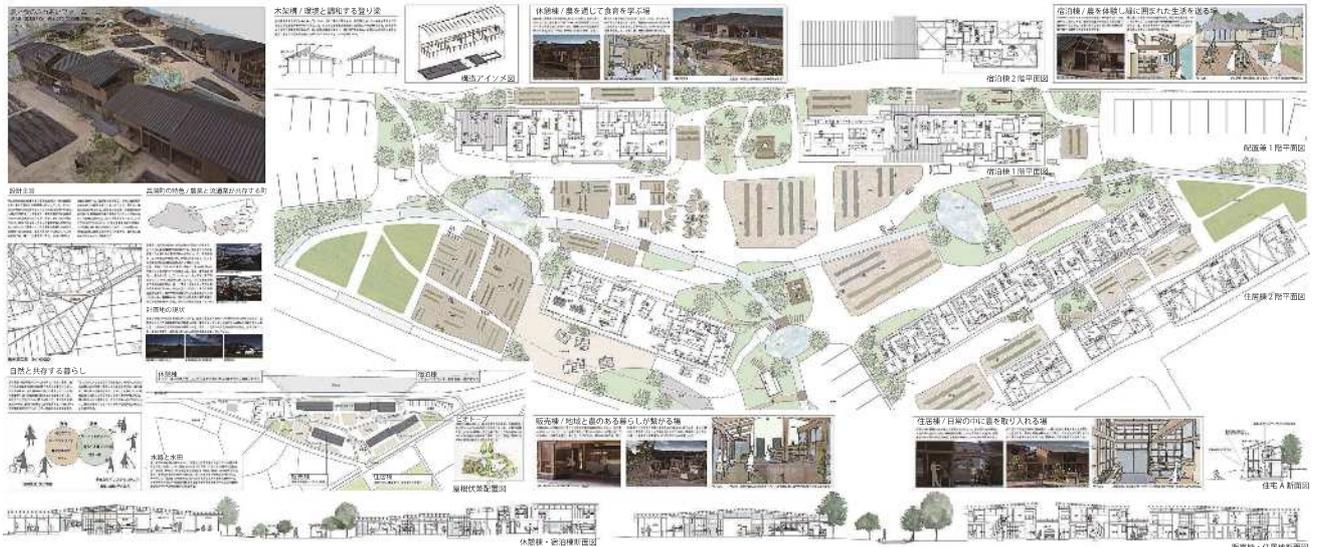


**総合資格学院賞**

日本工業大学建築学部建築学科 齋木 陸斗  
農と食のふれあいファーム -菅蒲町における自然と共存する交流拠点-



埼玉県北東部に位置する久喜市菅蒲町では、面積の約6割に農地と田園風景が広がっている。江戸時代の新田開発による見沼代用水が築かれ、当地は水運の交流拠点として栄えた。現在では県道沿いの農産物直売所に、地元農家の野菜を求めて多くの客が訪れ、稲作や梨をはじめとした農業が盛んな町となっている。その一方で、農業従事者の高齢化や後継者不足は深刻な問題となっている。そこで本計画では、菅蒲町を計画地として、農を取り入れた生活を送ることのできる、地域に根差した建築を提案する。住居棟や宿泊棟は、農と食に触れる生活の場であり、自ら育てた野菜を食べることができる。また、居住者や宿泊者、貸農園の利用者が育てた野菜を直売所とカフェで提供する。休憩棟には採れた野菜を使えるキッチンスタジオとBBQ テラスがあり、料理と食事を通して地域の人が気軽に農に触れる体験ができる。この建築から、地域における自然との向き合い方を考え、農のある暮らしが広がることを期待する。



総合資格学院賞

芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 今泉 友希  
 ヤネが織りなす意識の拡張 —草加の核となる生活ケア拠点—

今日、高齢者福祉施設等の介護の場では、高齢者の活動が施設内で完結し、外部との関係性に乏しい閉じた場となっている。これからは、地域に対して新しい介護の在り方が求められる。そこで、高齢者と地域住民が互いに場を共有し、見守り合う生活ケア拠点こそが新しい介護の在り方だと考えた。高齢者と地域住民とが互いの活動を意識し合う環境を様々な種類の「ヤネ」でつくりだすことによって、可能にした。



**ヤネが織りなす意識の拡張**  
 —草加の核となる生活ケア拠点—

01. 背景 —高齢者介護施設の社会的課題—  
 02. 敷地 —埼玉県草加市—

03. 提案 —高齢者の核となる生活ケア拠点—  
 04. システム

05. マスタープラン

06. 設計手法

—敷地特性とヤネ— 様々な種類の ヤネ  
 ヤネ材 ガラス 垂木

—ヤネによる意識の拡張—  
 ・各々の場への誘い  
 ・建築の一体化  
 ・環境に応じた場の形成

07. 断面計画 —BB' Section—  
 —CC' Section—

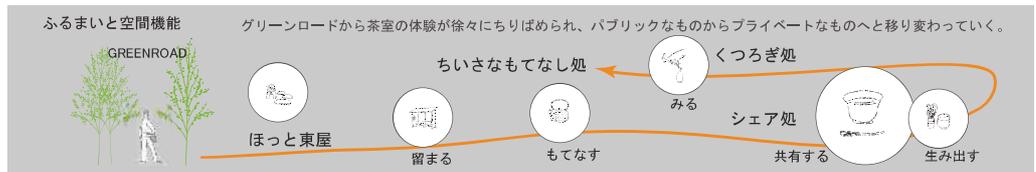
07. 平面計画(2階)  
 07. 平面計画(1階)

日建学院賞

芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 富永 典子  
 IORI —グリーンロードから始まる地域の一期一会—



現在、核家族化や地域コミュニティの希薄化により、一人暮らしではない人でも、家庭の悩みを打ち明けられる相談相手が身近にいないことから約40%の人が孤独を感じている。本計画では、日本古来の茶室の精神とふるまいの体験を通して、私たちに合った方法で地域の人との一期一会が生まれる場をつくる。悩みを相談できず、孤独を感じている人々に、地域で寄り添う場と新たな人との出会いを与える。この建築は草木を結んでつくられる小さな家「庵」のように人々を結びつけ、支え合う地域の家である。



LAYOUT.GROUND FLOOR PLAN

CRAFT ZONE 2F/3F PLAN  
 GL+5000/GL+8000  
 3F PLAN  
 2F PLAN

呼应し合う建築

グリーンロードを結んでつながる空間は人々に立ち寄りやすくなる。公共的な空間から徐々に私的な空間に上がっていく。最後には蒸みからグリーンロード全体を貫通し、自分について語り語るようになる。

FOOD ZONE 2F/3F PLAN  
 GL+5000/GL+8000  
 3F PLAN  
 2F PLAN

REGINERS SHOP  
 SHARING ZONE  
 MEETING ROOM

HEALING SPACE  
 KITCHEN/WASHING ROOM  
 PRODUCE SHOP

BETWEEN GREENROAD AND STARTER SHOP

## 第23回卒業設計コンクール

### 参加者（受賞者）一覧

| 審査結果                     | 地名               | 氏名            | 学校名                         | 作品名                                                  |
|--------------------------|------------------|---------------|-----------------------------|------------------------------------------------------|
| 埼玉県知事賞                   | 埼玉 北本市           | 宮本 早紀         | 実践女子大学生生活科学部<br>生活環境学科      | 北本循環交流神社<br>～氏子が生み出す多世代コミュニティ～                       |
| 準埼玉賞                     | 埼玉 大宮区<br>錦町・大宮駅 | 高波 晴夏         | 実践女子大学生生活科学部<br>生活環境学科      | Green,Blue,Stage,Less<br>～世界を導く 大宮浮遊鉄道・都市計画～         |
| 埼玉建築設計監理協会賞              |                  | 馬場 琉斗         | 工学院大学建築学部<br>建築デザイン学科       | 東京浸透水域<br>-根となる擁壁の更新と幹となる建築の更新-                      |
| 準埼玉建築設計監理協会賞<br>JIA埼玉優秀賞 |                  | 野本 榛奈         | 日本工業大学建築学部<br>建築学科          | 受け継ぐ学び舎<br>- 厩の改修と道具小屋の再生による養沢活性化 -                  |
| 特別審査員賞<br>JIA埼玉最優秀賞      | 埼玉 さいたま市         | 山口 華奈         | 東洋大学理工学部<br>建築学科            | 自然と暮らす<br>-他生物の器となりうる建築-                             |
| 特別審査員賞                   | 埼玉 東松山市          | 渡邊 啓介         | ものづくり大学技能工芸学部<br>建設学科       | 仮設的な山羊小屋のビルド/デザイン<br>埼玉県東松山市農園の看板ヤギレスキュー             |
| 特別審査員賞                   | 埼玉 秩父            | 平原 朱莉         | 日本女子大学家政学部<br>住居学科          | 生木の風化と循環を体感する<br>-原始の思考と現代の技術で再生する人工林-               |
| 埼玉県住宅供給公社賞               | 埼玉 越谷市<br>蒲生     | 野口裕莉菜         | 日本大学生産工学部<br>建築工学科          | みちが続く先に                                              |
| さいたま住宅検査センター賞            | 埼玉 日高市           | 向田 大亮         | 東洋大学ライフデザイン学部<br>人間環境デザイン学科 | 自然回帰                                                 |
| さいたま住宅検査センター賞            |                  | 阿部 泰征         | 工学院大学建築学部<br>建築デザイン学科       | 痕跡への応答<br>-釜石鉱山選鉱場跡地における資料館の提案-                      |
| JIA埼玉優秀賞<br>日建学院賞        |                  | 陳 禹行<br>高井 祐来 | 東京電機大学理工学部<br>理工学科          | 高架×学び舎<br>～首都高速道路の活用による新たな川辺空間の提案～                   |
| 総合資格学院賞                  | 埼玉 久喜市<br>菖蒲町    | 齋木 陸斗         | 日本工業大学建築学部<br>建築学科          | 農と食のふれあいファーム<br>-菖蒲町における自然と共存する交流拠点-                 |
| 総合資格学院賞                  | 埼玉 草加市           | 今泉 友希         | 芝浦工業大学システム理工学部<br>環境システム学科  | ヤネが織りなす意識の拡張<br>-草加の核となる生活ケア拠点-                      |
| 日建学院賞                    |                  | 富永 典子         | 芝浦工業大学システム理工学部<br>環境システム学科  | IORI<br>-グリーンロードから始まる地域の一期一会-                        |
| 奨励賞                      | 埼玉 所沢市           | 清水 翔斗         | 芝浦工業大学システム理工学部<br>環境システム学科  | シェアする新しい生活のカタチ                                       |
| 奨励賞                      | 埼玉 さいたま市<br>大宮区  | 箕輪 彩花         | 実践女子大学生生活科学部<br>生活環境学科      | Entice wall archit 魅力的な繁華街を生活空間に誘う手法<br>～大宮南銀摘出増殖計画～ |
| 奨励賞                      | 埼玉 川越市           | 秋山 悠里         | 東洋大学ライフデザイン学部<br>人間環境デザイン学科 | 日常の中の結                                               |
| 奨励賞                      | 埼玉 飯能市           | 詠 里乃          | 日本大学生産工学部<br>建築工学科          | Villa Hygge                                          |
| 奨励賞                      | 埼玉 熊谷市           | 郭 雨晨          | ものづくり大学技能工芸学部<br>建設学科       | 視覚を扱わなくても廻れる建築空間                                     |
| 奨励賞                      | 埼玉 川越市           | 平野 三奈         | 日本大学生産工学部<br>建築工学科          | 時のかけら<br>-ちいさなこどもの世界-                                |
| 奨励賞                      | 埼玉 上尾市           | 中原 知希         | 東洋大学理工学部<br>建築学科            | 街の記憶<br>～地域を深く知るために～                                 |
| 奨励賞                      | 埼玉 熊谷市           | 小澤 大希         | 東京電機大学理工学部<br>建築都市環境学科      | 身近な河川<br>～熊谷市新屋川沿いに沿ったまちづくり提案～                       |
| 奨励賞                      |                  | 棚田 悠介         | 東京電機大学未来科学部<br>建築学科         | 町を纏う「帯」は人を象る                                         |
| 奨励賞                      |                  | 前田 仁          | 東洋大学理工学部<br>建築学科            | 山海地性二回帰又<br>-走水道中、まちを結ぶ物語-                           |
| 奨励賞                      |                  | 住吉 祥季         | 東洋大学ライフデザイン学部<br>人間環境デザイン学科 | 祝祭空間の再興<br>-道橋櫓酒場-                                   |
| 奨励賞                      |                  | 片岡 俊太         | 日本工業大学建築学部<br>建築学科          | 時を超えた大地の護り場<br>つくば市金田城趾に重ねる借り暮らしの長屋                  |
| 奨励賞                      |                  | 鈴木 なみ         | 東京電機大学未来科学部<br>建築学科         | Arts & Crafts                                        |
| 奨励賞                      |                  | 渡邊 大也         | ものづくり大学技能工芸学部<br>建設学科       | 居住空間としてのモバイルハウスの設計<br>-プロトタイプによる日本一周の実証実験を通して-       |
| 奨励賞                      |                  | 真塩 凌弥         | 東京電機大学未来科学部<br>建築学科         | 流動する余薫                                               |